

4.1 一般社団法人日本防護服協議会 2023 年度 第 1 回理事会 議事録

1. 日 時： 2023 年 4 月 18 日(火) 13:00～14:40
2. 場 所： アゼアス株式会社 中会議室(台東区蔵前 4-13-7)又はオンライン(Microsoft Teams)
3. 出席者：(敬称略、順不同) 14 名 ※下線を引かれている方は Microsoft Teams にて参加
理 事(10 名)・・・山内 正剛((国)量子科学技術研究開発機構)、深須 憲哉(旭・デュポン フラツ
※定足数 6 名 シュspan プロダクツ(株)、鈴木 一裕(アゼアス(株))、朝比奈 智(アトム(株))、
池田 靖(株)重松製作所)、傳田 章(帝国繊維(株))、篠原 克明(信州大学)、鉄
村 秀哉(帝人株式会社)、加藤 正弘(ミドリ安全株式会社)、上田 勝彦(山本
光学株式会社)
監 事(2 名)・・・関口 勝美(株式会社アルバーネット)、利岡 健人(株)シモン)
オブザーバー(1 名)・・・山本 剛士(山本光学株式会社)
事 務 局(1 名)・・・野原 由樹子(アゼアス(株))
4. 定足数の確認等：
山内理事長が、定足数の充足を確認し、本理事会が有効に成立する旨を宣し、議事進行役に鈴木業務執行理事を指名した。議題に入る前にリモート出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることが確認されたため、議題の審議に入った。
5. 議事概要：
 - (1) 決議事項
 - a) 入退会の承認について
資料 2023①-1 及び 2 が提示され、鈴木業務執行理事より一般社団法人日本高視認性安全服研究所より、一般社団法人の解散に伴い、退会希望年月を 2023 年 4 月付とする退会届の提出があった旨の報告があり、退会が承認された。
引き続き、2023①-3 及び 4 が提示され、2022 年度及び 2023 年度の入退会状況についての報告があり、内容を確認した。
 - b) 2022 年度事業報告(案) について
資料 2023 理①-6 が提示され、鈴木業務執行理事より前回からの追加、変更点について報告があり、内容を確認し承認した。資料 2023 年理①-6 及び-7 を定時総会の報告用資料とすることとした。
 - c) 2022 年度会計報告(案) 及び監査報告について
資料 2023 理①-9～13 が提示され、鈴木業務執行理事より 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの収支について説明があり、承認された。2022 年度の収入(経常収益)は 3,440,068 円、支出(経常費用)は 1,531,056 円だった。

資料 2023 理①-14 が提示され、関口監事より監査報告があった。4 月 12 日に関口監事と 2022 年度計算書類の正確性及び理事の職務の執行の妥当性を監査した結果、問題が無かったこと、不正は一切認められなかったこと、特記事項として次年度には事業活動の啓発を進め、さらなる向上を目指し効率的な事業を促進されることを望むとの説明があった。定時総会における 2022 年度決算の承認に関する資料として資料 2023 理①-9～14 を議総会に提示することとした。

調査研究費については、今後の使い道を検討していくこととした。

d) 2023 年度事業計画(案) について

資料 2022 理①-8 が提示され、鈴木業務執行理事より 2023 年度の事業計画の説明があり、内容を確認し、承認された。

第 21 回学術総会の日程及び場所については、2024 年 2 月 27 日、浅草橋ヒューリックホールで確定とした。インターネット配信については検討することとした。

e) 2023 年度予算(案) について

資料 2023 理①-15 が提示され、鈴木業務執行理事より 2023 年度の予算案の説明があり、審議の結果、承認された。

f) 期中における新任理事の選出方法及び候補者について

資料 2023 ①-5 が提示され、鈴木業務執行理事より、例年通り、期中の理事の補充に関しては、理事会から理事候補者を総会に推薦し、会員から役員への立候補を募るのは改選時のみとする旨の提案があり、承認された。

山本光学株式会社の上田勝彦氏より、2023 年度定時総会をもって退任する意向が表明され、承認された。上田氏から、後任として同社山本剛士氏が推薦された。理事会から山本剛士氏を、期中における新任理事候補として推薦し、議案として総会に提示することとした。

g) 2023 年度定時総会(開催案内及び議題)について

資料 2023 理①-18,19,20 が提示され、鈴木業務執行理事より 2023 年度定時総会の開催案内及び議題、配布資料についての説明があった。審議の結果、原則現地参加とし、リモート参加者には事前に議決権行使書と委任状を出してもらうこととした。回答期日を 2023 年 6 月 15 日とした。

総会・研究会における役割分担について確認した。

(2) 審議及び報告事項

a) 2023 年度研究会(講演テーマ及び演者)について

資料 2023 理①-18 が提示され、鈴木業務執行理事より研究会の講演テーマについて説明があった。1 題は、「消防隊員の除染について」のテーマで榊重松試作所の濱田昌彦氏へ質疑応答含め 60 分の講演を依頼し引き受けて頂いている。もう 1 題については、40 分間とし、保護具着用管理責任者についての講演を企画することとした。

b) 2023 年度見学会について

本年度幹事の深須憲哉氏及び山本剛士氏を中心に、見学先について企画検討して頂くこととした。

- c) 防護服関連規格の JIS 制定/改正 公募予定について
資料 2023 理①-24 が提示され、事務局より WG2 から、2023 年区分 D で 2 件(JIS T 8020 を ISO 6942 改正に基づき改正、同様に、JIS T 8128 を ISO11611 改正版に基づき改正)公募したいとの要望が寄せられている旨の報告があり、承認された。
- d) セイフティダイジェストに関する依頼について(Q&A 執筆、暑中見舞い広告)
事務局より、セイフティダイジェストに関する依頼及び暑中見舞い広告について説明があった。例年通り、6 月の定時総会後の内容で暑中見舞いを出すこととした。
- e) 年会報目次について
事務局より 2022 年度年会報作成の目次について報告があり、例年通り作成を進めることとした。配布についても昨年同様、冊子配布を募って、必要数のみ印刷することとした。
- f) 中災防経皮ばく露等に関する検討会及び橋梁等における剥離剤ばく露等に関するワーキンググループ参加について
中災防からの依頼内容についての説明があった。昨年同様磯田氏を派遣することとした。

6. 配布資料:

2023理①-1	退会願い(日本高視認性安全服研究所)	
2023理①-2	退会届(日本高視認性安全服研究所)	
2023理①-3	2022 年度入退会報告書(案)	
2023理①-4	2023 年度入退会報告書(案)	
2023理①-5	2023 年度 現行役員及び新任理事候補者	*定時総会決議事項用
2023理①-6	2022 年度事業報告(案)	*定時総会報告事項用
2023理①-7	事業報告の附属明細書	*定時総会報告事項用
2023理①-8	2023 年度事業計画(案)	*定時総会報告事項用
2023理①-9	2022 年度会計報告書(案)	
2023理①-10	2022 年度貸借対照表(案)	*定時総会決議事項用
2023理①-11	2022 年度正味財産増減計算書(案)	*定時総会決議事項用
2023理①-12	2022 年度正味財産増減計算書 内訳表(案)	*定時総会決議事項用
2023理①-13	財務諸表に対する注記	*定時総会決議事項用
2023理①-14	2022 年度監査報告書	*定時総会決議事項用
2023理①-15	2023 年度予算(案)	
2023理①-16	2023 年度収支予算書	*定時総会報告事項用
2023理①-17	2023 年度収支予算書 内訳表	*定時総会報告事項用
2023理①-18	2023 年度定時総会開催案内(法人会員用)	
2023理①-19	2023 年度定時総会議案集目次	
2023理①-20	2023 年度定時総会役割分担	
2023理①-21	2022 年度国際規格原案回答状況表	*定時総会報告事項用
2023理①-22	2023 年度国際規格原案回答状況表	*定時総会報告事項用
2023理①-23	一般社団法人日本防護服協議会 会員一覧	*定時総会報告事項用
2023理①-24	防護服関連規格の JIS 制定/改正 公募予定表	

以上をもって議案のすべてが終了したので、議長は 14 時 40 分、閉会を宣した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、出席した理事及び監事が記名押印する。

2023 年 4 月 25 日

一般社団法人日本防護服協議会

4.2 一般社団法人日本防護服協議会 2023 年度 第 2 回理事会 議事録

1. 日 時： 2023 年 6 月 27 日(火) 10:30~11:50
2. 開催場所： 台東区民会館 9 階 特別会議室（大）（〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-6-5）
又は Web 参加 (Microsoft Teams)
3. 出席者：（敬称略、順不同） ※下線を引かれている方は Microsoft Teams にて参加
理事現在数：11 名（定足数：6 名）
出席者理事（7 名）・・・山内 正剛（(国研)量子科学技術研究開発機構）、深須 憲哉(旭・デュ
ポン フラッシュ スパンプロダクツ)、篠原 克明（信州大学）、鉄村 秀哉（帝人(株)）、加藤 正弘(ミドリ安全(株))、上田 勝彦（山本光
学(株)）、鈴木 一裕（アゼアス(株)）

監事現在数：2 名
出席監事（1 名）・・・利岡 健人(株シモン)
オブザーバー(1 名)・・・山本 剛士（山本光学(株)）
統括事務局（3 名）・・・野原 由樹子、川口 さゆり、山田 彩（アゼアス(株)）
4. 定足数の確認等：
山内理事長が、定足数の充足を確認し、本理事会が有効に成立する旨を宣し、議事進行役に鈴木業務執行理事を指名した。議題に入る前にリモート出席者の音声^が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることが確認されたため、議題の審議に入った。
5. 議事概要：
 - (1) 審議及び報告事項
 - a) 2023 年度会計報告(案)
資料 2023 理② - 2 が提示され、鈴木業務執行理事より 2023 年 5 月末までの予算・実績対比表について報告があった。5 月末時点の経常収益は 2,740,000 円、経常費用計は 233,204 円だった。
 - b) 2023 年度定時総会、研究会、懇親会について
・資料 2023 理② - 3~5 が提示され、鈴木業務執行理事より定時総会及び研究会の役割分担及びシナリオ、定時総会資料についての説明があり、内容を確認した。
・懇親会の乾杯は、山本光学(株)上田理事に依頼し、快諾頂いた。
 - c) SC13 上田会議について
資料 2023 理② - 6 が提示され、鈴木業務執行理事より会議日程について意見交換し、次の通り決定した。
・バンケットについて、プレナリーの準備を加味して 9 月 13 日（水）とするか、参加者増加を見込めそうな 9 月 14 日（木）に変更するかを審議した。SC13 議長である池田氏に確認してから日程を決定することとした。
・バンケット参加費について、海外参加者（ご家族分も含む）は基本無料とする

が、日本の参加者からは会費を徴収することとした。原則、法人会員 8,000 円、個人・特別会員は 6,000 円とするが、海外からの参加者が多数となった場合は、徴収金額について再度検討することとした。

・バンケット参加対象者について、グローバルディレクトリ（GD）登録者以外も参加できるようにするのか、バンケット開催の方針を検討することとした。

・費用について、経済産業省からは会議会場借料について補助金が出る予定、付帯設備の支援対象は確認中である。

・山内先生、篠原先生、若月先生の 3 名について、旅費規程に基づき、交通費及び宿泊費を支給することとした。詳細については、各人と相談することとした。

d) 2023 年度見学会について

今年度見学会幹事の深須理事より資料が提示され、日程及び見学先、費用について説明があり、詳細について意見交換し、次の通り決定した。

・日程 : 11 月 9 日 13 時～10 日 12 時

・見学先 : SPring-8 (9 日)、旭化成水島製造所 (10 日)

・内容 : 初日は午後集合（昼食は無し）。兵庫県の播磨科学公園都市にある大型放射光施設、SPring-8 の見学ツアーを約 90 分、その後バスで倉敷へ移動し、会食・宿泊。翌日、旭化成水島製造所にて一般向けの見学ツアーに参加し、同事業所の安全担当との、災害が発生した際の対応や防護服にニーズについての情報交換会と、協議会の活動についての概要紹介を予定。昼前に倉敷にて解散。

・人数 : 募集人数 20 名を想定。

・参加費 : チャーターバス代で約 250,000 円掛かってしまう等があり、協議会からの補助がないと 30,000 円/人を超える。30,000 円/人を超えると、稟議が必要になる企業も多いので、30,000 円/人を超えない金額で設定したいとの提案があった。協議会から 100,000 円の補助が出れば、24,000 円/人を切る為、事業計画では 60,000 円で予算を設定していたが、100,000 円の補助をすることが提案され、承認された。

e) 理事長（代表理事）、業務執行理事 職務執行報告

① 入退会の報告

資料 2023 理② - 7 が提示され、鈴木業務執行理事より説明があった。前回理事会後の法人会員企業内の新規登録委員は 5 名、登録抹消委員は 4 名であった。

② 日本セメント協会セメント安全衛生大会における展示報告

資料 2023 理② - 8 が提示され、鈴木業務執行理事より、法人会員 4 社より防護服の出展希望があり、展示に協力いただいた旨の報告があった。

③ セイフティダイジェスト暑中見舞い掲載依頼について

資料 2023 理② - 9 が提示され、鈴木業務執行理事より説明があった。総会後の新任理事にリストを更新し、掲載することとした。

④ セイフティダイジェスト誌「管理者のための保護具類の基礎知識」執筆依頼について

資料 2023 理② - 10 が提示され、鈴木業務執行理事より説明があった。

セイフティダイジェスト誌へバイオハザード用の防護服の寄稿依頼があり、篠原先生に依頼をしたが日程的に厳しいとの回答であったため、タイトル変更を含め、再度検討することとした。

6. 配布資料：

2023理②-1	2023 年度 第1回 理事会 議事録
2023理②-2	2023 年度 会計報告書(案)
2023理②-3	2023 年度 定時総会・研究会 役割分担及びシナリオ (案)
2023理②-4	2023 年度 定時総会 議案集 (審議事項用資料)
2023理②-5	2023 年度 定時総会 報告事項用資料
2023理②-6	SC13 上田会議開催概要
2023理②-7	2023 年度 入退会報告書(案)
2023理②-8	日本セメント協会セメント安全衛生大会における展示報告書
2023理②-9	セイフティダイジェスト暑中見舞い掲載依頼
2023理②-10	セイフティダイジェスト管理者のための保護具類の基礎知識 執筆依頼
2023理②-11	2022 年度年会報告書 (※冊子配布希望者のみ)

以上をもって議案のすべてが終了したので、議長は 11 時 50 分、閉会を宣した。

2023 年 8 月 21 日
一般社団法人日本防護服協議会

4.3 一般社団法人日本防護服協議会 2023 年度 第 3 回理事会 議事録

1. 日 時： 2023 年 8 月 29 日（火） 14：00～16：00
2. 開催場所： アゼアス株式会社（〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-13-7）
又は Web 参加 (Microsoft Teams)
3. 出席者：（敬称略、順不同） 合計 13 名 ※下線を引かれている方は Web 参加者
理事（11 名）・・・山内 正剛（(国研)量子科学技術研究開発機構）、深須 憲哉（旭・デュボン フラッシュスパン プロダクツ）、傳田 章（帝国繊維株）、篠原 克明（信州大学）、鉄村 秀哉（帝人株）、山本 剛士（山本光学株）、鈴木 一裕（アゼアス株）、朝比奈 智（アトム株）、池田靖（株重松製作所）、加藤 正弘（ミドリ安全株）、三橋 卓也（一般財団法人カケンテストセンター）
監事（1 名）・・・利岡 健人（株シモン）
統括事務局（1 名）・・・野原 由樹子
4. 定足数の確認等：
山内理事長が、定足数の充足を確認し、本理事会が有効に成立する旨を宣し、議事進行役に鈴木業務執行理事を指名した。議題に入る前にリモート出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることが確認されたため、議題の審議に入った。
5. 議事概要：
 - (1) 決議事項
 - a) 入退会の承認について
資料 2023 理③ - 2,3,4 が提示され、鈴木業務執行理事よりエースセーフティ株式会社の入会希望及び川本産業株式会社の退会意向（2024 年 3 月）について説明があり、異議なく承認された。前回理事会後の法人会員企業内の新規登録委員は 6 名、登録抹消委員は 6 名であった。
 - b) 「テクニカルアドバイザー」の肩書の定義について
テクニカルアドバイザーの定義について、意見交換を行い、テクニカルアドバイザーについては、「ISO の標準化活動を経験している方で、専門性、知見を持っている方に対して、日本防護服協議会の理事会が任命する。案件ごとに、テクニカルアドバイザーとしての参加を委嘱する。」こととした。
 - ・ テクニカルアドバイザーの定義を、運用規定に定めることとし、次回理事会までに内容についてのメール審議を行うこととした。
 - ・ 稲井巡氏を、テクニカルアドバイザーに任命することとし、上田会議で使えるよう、稲井氏にテクニカルアドバイザーの名刺を用意することとした。
 - c) SC13 上田会議について
資料 2023 理③ - 6 及び - 7 が提示され、鈴木業務執行理事より上田会議開催費用内訳、上田会議、キャンパスツアー及び懇親会開催内容について、説明があった。

- ・ 旅費交通費及び宿泊費の支給対象者を増やすこと、懇親会メニューを追加すること、懇親会招待者枠を設けること、懇親会招待価格を設定することなどについての提案及び説明があり、承認された。
 - ・ 旅費交通費及び宿泊費の支給対象者の増加、懇親会費用の増加、懇親会参加人数の増加等により、当初の予定よりも増額となる科目、補助金との兼ね合いにより、一部経費を公益社団法人日本保安用品協会経由で発注することになったため減額となる科目がある。トータル収支については、懇親会参加人数によって変動はするが、当初の予定より補填額が減少する予定である。との説明があった。
 - ・ 懇親会の式次第案が提示され、司会、開会挨拶、主催者挨拶、来賓挨拶、乾杯、中締め挨拶、閉会挨拶の依頼先についての提案があり、承認された。
 - ・ 上田会議開催についての意見がある方は、後日事務局まで連絡
- d) 2023 年度研修会について
資料 2023 理③ - 8,9 が提示され、鈴木業務執行理事より、開催概要及び現時点の参加予定者数が 9 名である旨の説明があった。参加者数を増やせるよう、申込期限を延長し再度会員向けに案内をすることとした。収入と支出の差額分については、協議会から補填することとした。

(2) 審議及び報告事項

a) 2023 年度会計報告(案)

資料 2023 理③ - 5 が提示され、鈴木業務執行理事より 2023 年 7 月末までの予算・実績対比表について報告があり、内容を確認した。7 月末時点の経常収益は 3,020,000 円、経常費用計は 427,583 円であった。

b) 学術総会の開催場所、テーマ、演者について

資料 2023 理③ - 10,11,12 が提示され、鈴木業務執行理事より、学術総会の開催概要について説明があり、特別講演の演者、参加費用、スケジュールについて検討した。

- ・ 演者候補として、信州大学の森川先生、消防庁 0B の方、労働安全衛生総合研究所の豊岡様、重松製作所の野口様等に講演を打診することとした。
- ・ 参加費用は、昨年と同様の金額に設定することとした。
- ・ 前回開催時のアンケートで、休憩時間に名刺交換をする時間が欲しいとの意見があった為、休憩時間を長めに設定することとした。

c) 令和 6 年度標準化テーマ調査について

統括事務局より説明があった。昨年応募実績のあった企業や理事の方に応募の意向の有無を確認したが、要望が無かったため、応募しないこととした。

d) JAVISA 展示会用の暗室箱 譲渡の件

鈴木業務執行理事より、JAVISA から、展示会等で使用していた、高視認安全服デモンストレーション用の暗室箱を協議会に譲渡したいとの打診があった旨の説明があり、対応について協議した。保管場所、使用頻度、利便性、輸送費などの観点から、活用は困難との結論に達したため、譲渡はお断りすることとした。

e) 理事長（代表理事）、業務執行理事 職務執行報告

① RISCNTOKYO 危機管理産業展 2023 展示協力依頼について

資料 2023 理③ - 13 が提示され、鈴木業務執行理事より、公益社団法人日本保安用品協会から届いた、RISCNTOKYO 危機管理産業展 2023 への展示協力依頼についての報告があった。法人会員に案内し出展希望を募り、応募多数の場合は、統括事務局にて調整を行うこととした。出展費用の負担が必要か確認する。

6. 配布資料：

2023理③-1	2023 年度 第 2 回 理事会 議事録(案)
2023理③-2	2023 年度 入退会報告書(案)
2023理③-3	入会申込書(エースセーフティ株式会社)
2023理③-4	会社案内(エースセーフティ株式会社)
2023理③-5	2023 年度 会計報告書(案)
2023理③-6	SC13 上田会議資料(収支計画)
2023理③-7	SC13 上田会議参加者一覧、会議スケジュール
2023理③-8	2023 年度研修会開催のご案内
2023理③-9	研修会収支計画、参加者一覧
2023理③-10	2023 年度学術総会について
2023理③-11	学術総会資料 第 1~20 回 第 2 部 演題一覧
2023理③-12	学術総会資料 第 1~20 回 特別講演 演題一覧
2023理③-13	RISCNTOKYO 危機管理産業展 2023 展示協力依頼について

以上をもって議案のすべてが終了したので、議長は 15 時 56 分、閉会を宣した。

2023 年 10 月 16 日
一般社団法人日本防護服協議会

4.4 一般社団法人日本防護服協議会 2023 年度 第 1 回臨時理事会 議事録

1. 日時：2023 年 11 月 14 日(火) 15:00～16:40

2. 開催場所：アゼアス株式会社 2 階 中会議室(〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-13-7)

3. 出席者：(敬称略、順不同) 出席予定者合計 12 名 ※下線を引かれている方は Web 参加者

理事(10 名)・・・山内 正剛(国研量子科学技術研究開発機構)、深須 憲哉(旭・デュポン フラッシュユスパン プロダクツ)、朝比奈 智(アトム株)、三橋 卓也(一般財団法人カケンテストセンター)、池田 靖(株重松製作所)、篠原 克明(信州大学)、鉄村 秀哉(帝人株)、加藤 正弘(ミドリ安全株)、山本 剛士(山本光学株)、鈴木 一裕(アゼアス株)

統括事務局(2 名)・・・野原 由樹子、山田 彩

4. 定足数の確認等：

鈴木業務執行理事が、定足数の充足を確認し、本理事会が有効に成立する旨を宣した。山内代表理事が議事進行役に鈴木業務執行理事を指名した。議題に入る前にリモート出席者の音声が入ったため、議事の審議に入った。

5. 議事概要：

(1) 決議事項

a) 代表理事の辞任について

山内代表理事より、2023 年内をもって代表理事の地位を辞任したい旨の説明と要望があった。審議の結果、山内代表理事の代表理事辞任願いを承諾し、2023 年内に辞任届を受理することとした。

b) 代表理事の選任について

山内代表理事の 2023 年内中の代表理事辞任を受け、後任の代表理事の選任方法について議論した結果、現職理事より選定することとなった。鈴木業務理事が、出席した理事に対し、代表理事の後任について希望を募ったが、立候補者はいなかった。

山内代表理事より、後任者として、朝比奈理事を代表理事に選任したい旨が述べられ、この可否につき諮ったところ、出席理事の満場一致によって可決確定した。

被選任者である朝比奈理事は、山内代表理事の退任日と同日に代表理事に就任することを承諾した。

代表理事交代に伴う登記手続きを 2023 年内に済ませることについて、異議無く承認された。後任として選任された朝比奈新代表理事の任期が、2024 年度定時総会の閉会の時までとなることを確認した。

(2) 審議及び報告事項

a) 代表理事交代に伴う手続きについて

代表理事交代に伴い、当協議会のホームページ修正を行う他、当協議会名で発行する書類等については、朝比奈智理事長名で発行することを確認した。

b) WG1、WG3、WG8 主査について

山内代表理事より、WG1、WG3、及び WG8 の主査の職を、2023 年内をもって辞任したい旨
が述べられたため、後任について、別途関係 WG にて検討することとした。

6.配布資料：なし

以上をもって議案のすべてが終了したので、鈴木業務執行理事は 16 時 40 分 閉会を宣した。

2023 年 11 月 14 日
一般社団法人日本防護服協議会

4.5 一般社団法人日本防護服協議会 2023 年度 第 4 回理事会 議事録

1. 日 時： 2023 年 11 月 28 日（火） 13：00～14：45 *SC 13 国内審議分科委員会当日

2. 開催場所： アゼアス株式会社（〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-13-7）

又は Web 参加 (Microsoft Teams)

3. 出欠：（敬称略、順不同） 合計 14 名 ※下線を引かれている方は Web 参加者

出席理事(10名)・・・山内 正剛((国研)量子科学技術研究開発機構)、深須 憲哉(旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ)、鈴木 一裕(アゼアス株)、朝比奈 智(アトム株)、三橋 卓也(一般財団法人カケンテストセンター)、池田 靖(株重松製作所)、傳田 章(帝国繊維株)、鉄村 秀哉(帝人株)、加藤 正弘(ミドリ安全株)、山本 剛士(山本光学株)

出席監事(1名)・・・利岡 健人(株シモン)

統括事務局(2名)・・・野原 由樹子、山田 彩

オブザーバー(1名)・・・稲井 巡

4. 定足数の確認等：

山内理事長が、定足数の充足を確認し、本理事会が有効に成立する旨を宣し、議事進行役に鈴木業務執行理事を指名した。議題に入る前にリモート出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることが確認されたため、議題の審議に入った。

5. 議事概要：

(1) 決議事項

a) 主査・幹事の選任について

鈴木業務執行理事及び稲井氏より、山内理事長が WG1、WG3、WG8 主査を 12 月に辞任する意向を示していること、また WG5 幹事の不在が続いていることから、後任の主査及び幹事候補者について各 WG 主査・幹事及び関係者で検討した内容として、2023 年 12 月から 2024 年 3 月までの暫定処置として、下記の体制にしたいとの提案があった。審議の結果、下記の通り変更とすることが決議され、理事長が主査及び幹事を指名した。(変更箇所は網掛け部分)

	現行（2023 年 11 月時点）		変更後（2023 年 12 月～2024 年 3 月）	
WG	主査	幹事	主査	幹事
WG 1	<u>山内氏</u>	野原氏	<u>篠原氏</u>	野原氏
WG 2	若月氏	辻 氏	若月氏	辻 氏
WG 3	<u>山内氏</u>	磯田氏	<u>稲井氏</u>	磯田氏
WG 5	山田氏	(不在)	山田氏	<u>辻 氏</u>
WG 6	篠原氏	<u>辻 氏</u>	篠原氏	磯田氏
WG 8	<u>山内氏</u>	森下氏	<u>稲井氏</u>	森下氏

a) 様式改正について（様式 1-入会申込書、様式 2-退会届、様式 4-登録申込書）

資料 2023 理④ - 10, 11, 12 が提示され、鈴木業務執行理事より、各様式の変更点について説明があった。様式-1, 2 については、入会目的やきっかけ、退会理由等を記載する欄がなかったため、追記する提案があった。上記提案に伴い、当会規約を確認したことを明記する欄があった方が良いという意見等がでたため、様式 1-入会申込書及び、様式 3-退会届については、再度修正し、メール審議を行うこととなった。

様式 4-登録申込書については、氏名フリガナを記入する欄の追記及び PDF 形式ではなく Excel 形式とすることについて、異議なく承認された。

また併せて、運用規定についても改訂を検討することとした。

b) 入退会の承認について

資料 2023 理④ - 3~8 が提示され、鈴木業務執行理事より大阪樟蔭女子大学 谷様、株式会社カネカの入会報告（事前にメール審議を行い、承認済）及び、セーフラン安全用品株式会社の入会希望及び川本産業株式会社、高階救命器具株式会社の退会意向（2024 年 3 月）について説明があった。

セーフラン安全用品株式会社については、前項の様式改定に伴い、新規入会については一旦保留とし、新しい様式で再提出いただくか再度検討することとした。

前回理事会後の法人会員企業内の新規登録委員は 8 名、登録抹消委員は 2 名であった。

c) 「テクニカルアドバイザー」の肩書の定義、運用規定改正について

資料 2023 理④ - 17 が提示され、鈴木業務執行理事より、運用規定改正案について説明があり、異議なく承認された。

d) 学術総会について

資料 2023 理④ - 13, 14, 15 が提示され、鈴木業務執行理事より説明があった。

開催案内については、講演内容及び講師をわかりやすく記載し、修正することとした。また、懇親会についても案内を行い、広く周知することとした。申込人数によってはケータリングの利用も検討することとした。

収支予想については、配信パックは使用しないこととした。お弁当については、昼食時は周辺飲食店の混雑が予想されるため、現地参加者分を用意することを確認した。

e) 通訳費（ISO 20471）の補助について

資料 2023 理④ - 16 が提示され、統括事務局より説明があった。今回の資料は見積りのみであったので、改めて WG1 幹事から正式な依頼書を作成することとした。

(2) 審議及び報告事項

a) 2023 年度会計報告(案)について

資料 2023 理④ - 17 が提示され、鈴木業務執行理事より 2023 年 10 月末までの予算・実績対比表について報告があり、内容を確認した。7 月末時点の経常収益は 3,658,825 円、経常費用計は 2,578,398 円であった。

b) SC 13 上田会議報告

資料 2023 理④ - 18 及び - 19 が提示され、鈴木業務執行理事より上田会議及び上田会議の収支について報告があった。上田会議における総収入額は 319,000 円、総支出額

は 1,783,386 円であった。

c) 研修会報告

資料 2023 理④ - 20 が提示され、鈴木業務執行理事より研修会の収支について報告があった。研修会における総収入額は 390,000 円、総支出額は 504,582 円であった。研修会報告書については次回理事会で確認することとなった。

d) 事業計画(案)について

資料 2023 理④ - 21 が提示され、鈴木業務執行理事より事業計画(案)について説明があった。理事会等の候補日については、別途メール審議を行うことになった。

e) 中央労働災害防止協会 月刊誌「安全と健康」原稿 執筆依頼について

資料 2023 理④ - 22 が提示され、鈴木業務執行理事より、中災防からの執筆依頼について説明があった。来年 11 月に掲載予定で、防護服をテーマとして執筆依頼を行う予定である。

f) 理事長(代表理事)、業務執行理事 職務執行報告

1) ISO/TC 94/SC 13 活動報告

資料 2023 理④ - 23 が提示され、統括事務局より、ISO/TC 94/SC 13 活動報告について説明があった。

2) 展示会 参加報告

統括事務局より、RISCON TOKYO 危機管理産業展 2023、産業保健フォーラム IN TOKYO2023、神奈川県産業資源循環協会 第 13 回安全衛生大会への展示協力について報告があった。

3) 日本保安用品協会 「保護具ポケットブック」の改訂について

統括事務局より日本保安用品協会より「保護具ポケットブック」の改訂依頼について説明があった。統括事務局でアップデートがないかを確認し、回答することとした。

4) 令和 5 年度マスク等国内生産・輸入実態把握調査について

統括事務局より、令和 5 年度マスク等国内生産・輸入実態把握調査について説明があった。本年も昨年同様、会員へ案内し、調査へ協力することとした。

6. 配布資料：

2023理④-1	2023 年度 第 3 回 理事会 議事録(案)
2023理④-2	2023 年度 第 1 回 臨時理事会 議事録(案)
2023理④-3	2023 年度 入退会報告書(案)
2023理④-4	大阪樟蔭女子大学 谷様 入会申込書、WG 登録申込書等
2023理④-5	株式会社カネカ 入会申込書、登録申込書、パンフレット
2023理④-6	セーフラン安全用品株式会社 入会関連資料、登録申込書、パンフレット
2023理④-7	川本産業株式会社 退会届
2023理④-8	高階救命器具株式会社 退会届
2023理④-9	運用規程 改正案(テクニカルアドバイザー追記)
2023理④-10	様式 1 入会申込書 改正案
2023理④-11	様式 3 退会届 改正案
2023理④-12	様式 4 登録申込書 改正案
2023理④-13	第 21 回学術総会 開催案内(案)

- 2023理④-14 第 21 回学術総会 収支予想
- 2023理④-15 第 21 回学術総会 プログラム(案)
- 2023理④-16 ISO 国際会議通訳費 見積書
- 2023理④-17 2023 年度 会計報告(案) 10 月末時点
- 2023理④-18 SC13 上田会議 報告書
- 2023理④-19 SC13 上田会議 収支報告書
- 2023理④-20 2023 年度 研修会 収支報告書
- 2023理④-21 2024 年度 事業計画(案)
- 2023理④-22 月刊誌「安全と健康」原稿 執筆依頼について
- 2023理④-23 第 75 回 ISO/TC94 国内審議委員会 SC13 活動報告書

以上をもって議案のすべてが終了したので、議長は 14 時 45 分、閉会を宣した。

2023 年 12 月 11 日
一般社団法人日本防護服協議会

4.6 一般社団法人日本防護服協議会 2023年度 第5回理事会 議事録

1. 日 時： 2024年1月23日（火） 15:00~17:00
2. 開催場所： アゼアス株式会社（〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-13-7）
又はWeb参加(Microsoft Teams)
3. 出欠：（敬称略、順不同） 合計11名 ※下線を引かれている方はWeb参加者
出席理事(8名)・・・朝比奈 智(アトム株)、深須 憲哉(旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ)、
鈴木 一裕(アゼアス株)、傳田 章(帝国繊維株)、鉄村 秀哉(帝人株)、加藤 正弘(ミドリ安全株)、山本 剛士(山本光学株)、篠原 克明(信州大学)
出席監事(1名)・・・利岡 健人(株シモン)
統括事務局(2名)・・・野原 由樹子、山田 彩
4. 定足数の確認等：
朝比奈理事長が、定足数の充足を確認し、本理事会が有効に成立する旨を宣し、議事進行役に鈴木業務執行理事を指名した。議題に入る前にリモート出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることが確認されたため、議題の審議に入った。
5. 議事概要：
 - (1) 決議事項
 - a) 入退会について
資料 2023 理⑤ - 2~4 が提示され、鈴木業務執行理事より、メディテックジャパン株式会社及びセーフラン安全用品株式会社の入会希望について、個人会員の山田晃也氏の退会について、個人会員の山内正剛氏の会員種別変更（個人→特別）について、説明があり、異議なく承認された。
また、個人会員の松村芳美氏のご逝去について報告があった。前回理事会後の法人会員企業内の新規登録委員は5名、登録抹消委員は6名であった。
 - b) 主査の選任について
資料 2023 理⑤ - 5 が提示され、鈴木業務執行理事より、WG 5 主査の山田晃也氏の退会により、主査が不在となる為、後任として若月薫氏が就任することが主査幹事ミーティングにて提案があった旨の説明があり、異議なく承認された。
 - c) 主査、幹事の立候補について（2024年4月～）
資料 2023 理⑤ - 6 が提示され、鈴木業務執行理事より、2024年4月以降の主査幹事への立候補について説明があった。立候補者が複数名いたWG 2については、幹事は辻氏に、WG 2の主査は若月氏に依頼することとした。他に、WG 5の主査についても若月氏に依頼することとした。立候補が無かったWGの主査幹事については、現行の主査幹事へ依頼する。
なお、WG 5主査、幹事については、主査に森林総合研究所鹿島先生、幹事にミドリ安全株式会社山田氏を推薦することを前WG 5主査山田晃也氏より提案があり、事務局

で引き受けて頂けるかの確認をしている。派遣費等の兼ね合いがあり、金銭支払いが発生することについて、他の主査と差が出てしまうため、慎重に検討すべきとの意見があった。

審議の結果、各 WG で検討のうえ、主査幹事が不在となる場合は、投票案件により他の WG が引き受ける可能な案件については他の WG で代行し、他 WG でできないものについては、事務局預かりとし審議に参加せず棄権投票することとした。

d) 運用規定改訂（案）について

資料 2023 理⑤ - 7 が提示され、鈴木業務執行理事より、「会員の厳守事項」の項目が追加された運用規定改正案について説明があり、異議なく承認された。

e) 様式改正について（様式 1-入会申込書、様式 2-退会届）

資料 2023 理⑤ - 8,9 が提示され、鈴木業務執行理事より、各様式の変更点について説明があった。前回理事会で提案があった、入会目的やきっかけ、退会理由等を記載する欄を追記し、異議なく承認された。

また、併せて入会申込書に対して、入会承諾書があった方が良いとの意見があった為、次回理事会の決議事項とし、その間までに新たな入会希望があった場合、書面審議することとした。

f) 学術総会に関する最終確認（講師への謝金、交通費、役割分担等）

2024 年 2 月 27 日開催予定の 2023 年の学術総会についての計画、予算についての説明があった。

鈴木業務執行理事より次年度以降の参加費について、費用が高いため、参加者数を増やすことの検討が必要ではないかの意見があり、今後の理事会で審議することとした。また、学術総会の内規についての改定について、事務局より WEB のみ開催の場合の記載があったが、同内容の文言削除する内容で改訂したい旨の説明があり、承認された。

g) 通訳費の補助について

2024 年 1 月度理事会にて WG1 にて通訳費の拠出願いが口頭であったことについて、書面にて提出された。通訳する方の専門知識を鑑みて、委員に対し正確な翻訳が担保できることが、通訳利用の最低条件であるため、通訳者の人選も決裁に係る重要な要点である、他の WG でも通訳依頼があった場合に同様に通訳費拠出を求められるため、費用対効果で大きな利点の提示が必要であると意見があった。

通訳については事前に資料を渡しておき、事前確認をしてもらえる者であること、会議参加歴の確認をすることが好ましいと意見があった。

審議の結果、本理事会で提出された依頼文については、WG で再度審議したうえで再提出する場合は書面審議することとした。

(2) 審議及び報告事項

a) 理事・監事ミーティング報告について

第 1 回、第 2 回の理事監事ミーティングの議事録について説明があった。

- ・ 現課題の優先事項は理事長候補を定め、内諾いただくこと
- ・ 理事長職の他に副理事長の職を新たに設ける案

- ・ 理事長、副理事長、業務執行理事での役付理事の体制案
- ・ 理事会の活性化のための新理事への勧誘

また、ミーティングにて確認することとした、各社理事長候補となることの可否について、本日参加理事、監事に確認したが、確認中または引き受け不可の回答のみであった。

審議の結果、各社で理事長候補、副理事長となることの可否、役付理事の体制案について、期日を定め各理事に書面で確認することとし、立候補なき場合は、理事会等を追加開催し互選、抽選し理事長候補、副理事長候補を定めることとした。

b) 2023 年度会計報告(案)について

資料 2023 理⑤ - 18 が提示され、鈴木業務執行理事より 2023 年 12 月末までの予算・実績対比表について報告があり、内容を確認した。12 月末時点の経常収益は 3,899,825 円、経常費用計は 3,483,192 円であった。

c) 2023 年度事業報告(案)について

資料 2023 理⑤ - 19 が提示され、鈴木業務執行理事より 2023 年度活動報告(案)について説明があった。

d) 2024 年度事業計画(案)について

資料 2023 理⑤ - 20 が提示され、鈴木業務執行理事より 2024 度の事業計画、定時総会、理事会等の日程について説明があった。

・ 定時総会 : 2024/6/25

・ 理事会 : 2024/4/25、6/25、9/25、11/28、2025/1/24、3/26

・ ISO 国際会議 : 9/8-13

e) 2024 年度予算(案)について

資料 2023 理⑤ - 21 が提示され、統括事務局より 2024 年度予算(案)について説明があった。例年と同様の予算案ではあるが、懇親会費用等の科目変更の他、機械翻訳サービス追加、見学会(研修会)での貸し切りバス費用追加、国際会議の通訳費用、委員長派遣費用の追加、防護服協議会の事務に係る交通費の追加等である。

内容精査し次回理事会にて最終の予算案を提示することとなった。

f) 2024 年度研究会(講演テーマ、講師等)について

2024/6/25 定時総会同日の開催予定の候補について審議があった。

朝比奈理事より、厚生労働省化学物質対策課実長代理平川氏へ「化学物質の自主的管理」について 90 分講演にて依頼を行う。依頼承諾後、事務局にて調整を行う。

g) 2024 年度見学会(研修会)の実施可否及び見学先候補について

鈴木業務執行理事より、見学会(研修会)について、例年は日帰りと宿泊を交互に研修会を行っており、コロナによる中止もあったが、例年参加者が減少しており、参加費も高く会員のメリットとなるような見学先の選定ができるかどうか、できないのであれば、開催自体の見送りの検討が必要があるかと思い、実施可否と記載したとの説明があった。次回の理事会で時間を取り、2024 年度以降の研修会の企画について審議することとした。

h) 理事長（代表理事）、業務執行理事 職務執行報告

① セイフティダイジェスト誌への原稿執筆依頼について

（2024年5月号「Q&A 防護服」）

事務局よりセイフティダイジェスト5月号に防護服に関するQ&Aの執筆依頼があり、例年過去のQ&Aの修正を執筆しており、昨年のセイフティダイジェストに化学防護服の透過と浸透を掲載したばかりであることの説明があった。

審議の結果WG3幹事磯田氏が「経皮障害等防止用保護具の選定マニュアル」を補完する内容で化学防護服のQ&Aを執筆することとした。

その他

協議会の魅力度向上について、理事会、作業部会共にリソース不足をしている中、どの様に魅力度を高めるかの検討が必要でないかと課題提議があった。

当会の活動は会員外に認知されていないため、本年の法改正に合わせた「リスクアセスメント」「保護具着用管理責任者」「化学物質の自主的管理」の一貫した教育をユーザーは課題認識しており、同内容であれば厚生労働省化学物質対策課の方が講師をすることもあり得る、企画組立ができるのであれば有効的ではないかと意見があった。ユーザーが求めているのは実務に関連する教育ではないかとの意見があった。

また、事務局よりJIS T8008（防護手袋の一般要求事項）、T8125-3, 4（チェーンソー防護）についてJIS発行の見込みがある説明会を行うべきか確認があり、JIS T8008よりJIS T8119が興味をひきやすいのではないかと、説明会については手袋にスポットが当たっており企画することは良いのではないかと意見があった。

6. 配布資料：

2023理⑤-1	2023年度 第4回 理事会 議事録(案)
2023理⑤-2	2023年度 入退会報告書(案)
2023理⑤-3	株式会社メディテックジャパン 入会申込書、登録申込書、HP資料
2023理⑤-4	山田晃也 氏 退会届
2023理⑤-5	主査幹事ミーティング議事録
2023理⑤-6	主査幹事 立候補者一覧
2023理⑤-7	運用規程 改正案
2023理⑤-8	様式1 入会申込書 改正案
2023理⑤-9	様式3 退会届 改正案
2023理⑤-10	第21回学術総会 開催案内、プログラム
2023理⑤-11	第21回学術総会 参加者一覧
2023理⑤-12	第21回学術総会 収支予想
2023理⑤-13	第21回学術総会 役割分担
2023理⑤-14	第21回学術総会 シナリオ
2023理⑤-15	学術総会 内規(案)
2023理⑤-16	12/21 理事監事ミーティング議事録(案)
2023理⑤-17	1/15 理事監事ミーティング議事録(案)
2023理⑤-18	2023年度 会計報告(案) 12月末時点
2023理⑤-19	2023年度事業報告案
2023理⑤-20	2024年度事業計画案

- 2023理⑤-21 2024 年度予算案
- 2023理⑤-22 セイフティダイジェスト誌への原稿執筆(防護服 Q&A/2024 年 5 月号)
- 2023理⑤-23 Q&A 題材履歴
- 2023理⑤-24 防護服の ISO 国際会議への通訳サービスの依頼について

以上をもって議案のすべてが終了したので、議長は 17 時 00 分、閉会を宣した。

2024 年 1 月 26 日
一般社団法人日本防護服協議会

4.7 一般社団法人日本防護服協議会 2023 年度 第 6 回理事会 議事録

1. 日 時： 2024 年 3 月 26 日（火） 14：00～17：00
2. 開催場所： アゼアス株式会社（〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-13-7）
又は Web 参加 (Microsoft Teams)
3. 出欠：（敬称略、順不同） 合計 12 名 ※下線を引かれている方は Web 参加者
出席理事(9 名)・・・朝比奈 智(アトム株)、深須 憲哉(旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ)、
鈴木 一裕(アゼアス株)、三橋 卓也((一財)カケンテストセンター)、池田 靖
(株)重松製作所)、傳田 章(帝国繊維株)、鉄村 秀哉(帝人株)、加藤 正弘(ミドリ安全株)、篠原 克明(信州大学)
出席監事(1 名)・・・関口 勝美(株)アルバーネット)
統括事務局(2 名)・・・磯田 実、山田 彩
4. 定足数の確認等：
朝比奈理事長が、定足数の充足を確認し、本理事会が有効に成立する旨を宣し、議事進行役に鈴木業務執行理事を指名した。議題に入る前にリモート出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることが確認されたため、議題の審議に入った。
5. 議事概要：
 - (1) 決議事項
 - a) 2024 年度定時総会について
資料 2023 理⑥-2 が提示され、鈴木業務執行理事より、来年度の定時総会の開催日時、開催場所及び開催方法が次のとおり提案され、異議なく承認された。
 - ・ 開催日時：2023 年 6 月 27 日(火) 13:30～14:15
 - ・ 開催場所：台東区民会館 第 5 会議室
 - ・ 開催方法：対面式（※台東区民会館のWifiを借りて Web 視聴もできるようにするが、回線が不安定になったり途中で途切れたりして審議が成立しなくなる可能性があることから、Web 参加者からは事前に委任状又は議決権行使書を提出いただくこととした。）
 - ・ 議 題：【決議事項】
 - 第一号議案 2023 年度決算の承認
 - 第二号議案 理事の改選【報告事項】
 - 2023 年度事業報告及び附属明細書
 - 2024 年度事業計画及び予算について
 - 入退会報告
 - ISO/TC94/SC13/WG 主査・幹事の紹介
 - 2023 年度及び 2024 年度 ISO 投票報告

招集通知は法人個人会員宛にメールにて送付することとし、当日欠席予定の会員の議決権行使についても、昨年同様、書面による議決権行使又は代理人による議決権行使とする。

b) 役員改選期の役員の選出方法及び候補者について

資料 2023 理⑥-3 が提示され、鈴木業務執行理事より、当協議会の従来の役員（理事及び監事）候補者の選出方法について説明があった。審議の結果、2024 年度も、従来通り、協議会会員に役員の候補を募り、選任投票を行うこととした。

役員候補は、事前の受付とし、あらかじめ立候補した方のみ受け付け、原則、定時総会当日の受付はしない旨を明記して立候補者を募集することとした。

4 月に入ったら立候補者を募り、2 週間程で立候補を締め切り、次回理事会にて、理事会として推薦する役員候補者を明確にすることとした。定時総会には、理事会で作成した役員候補者一覧を議案として提示することとした。

c) 役付理事会体制について

鈴木業務執行理事より、役付理事会体制について説明があった。事前に行ったアンケートの結果は下記のとおりであった。

(A) 理事長 1 名 + 業務執行理事 1 名 < 2 票 >

(B) 理事長 1 名 + 副理事長 2 名 + 業務執行理事 1 名 < 1 票 >

(C) 理事長 1 名 + 副理事長 1 名 + 業務執行理事 1 名 < 5 票 >

他(B または C として理事長がいずれかを選択する) < 1 票 >

なお、副理事を設置する場合には定款の変更が必要となる。

また、鈴木業務執行理事より、現状は ISO 及び JIS 規格の審議に係る事業に重点を置いているが、今後の事業案として、ユーザーやメーカーへの防護服の普及活動、説明会やセミナー等のユーザーへの啓発活動に活動の重点をシフトしてはどうかとの提案があった。篠原理事より、当会の事業をどのように発展させるかを検討する委員会の立ち上げ、及びその委員会参加者を会員から募集してはどうか、との提案があり、審議の結果、鈴木業務執行理事が委員募集案作成を検討することとした。

また、来年度の総会時の役員改選に向け、現理事の再任について確認を行った。現理事長の朝比奈氏が 6 月で任期満了であり、次期理事長候補及び副理事長職の追加について審議を行ったが、結論がでなかった為、次回に持ち越しとなった。

d) 2024 年度主査・幹事の選任について

資料 2023 理⑥-4 が提示され、鈴木業務執行理事より、2024 年度の主査・幹事について主査幹事会議での審議結果について、説明があった。

WG 1 主査 篠原氏 / WG 1 幹事 野原氏(事務局預かり:磯田氏)

WG 2 主査 若月氏 / WG 2 幹事 辻氏

WG 3 主査 稲井氏 / WG 3 幹事 磯田氏

WG 5 事務局預かり

WG 6 主査 篠原氏 / WG 6 幹事 磯田氏

WG 8 主査 稲井氏 / WG 8 幹事 森下氏

WG 5 については、候補者が不在の為、事務局預かりとなった。事務局預かりの場合は、投票

案件等がきた際には、他の WG の主査幹事が引き受け可能な案件については代行し、他 WG 主査幹事で引き受け不可の案件については、該当 WG 登録会員向けに通知、意見照会しを行い、意見が無ければ棄権投票することとなる。

また、ISO TC 94/SC 13 国内審議分科委員会の委員長が不在であった件について、篠原氏に引き受けていただくこととなった。

e) 入退会の承認について

資料 2023 理⑥-5~7 が提示され、鈴木業務執行理事より、IA ミント株式会社/多々清爾氏の個人会員入会希望について、一般財団法人ニッセンケン品質評価センターの退会について、説明があり、異議なく承認された。また、一般財団法人カケンテストセンターの三橋卓也氏について、3 月末で退社する為、4 月以降は個人会員として改めて入会いただき、理事を継続していただくこととなった。

前回理事会後の法人会員企業内の新規登録委員は 6 名、登録抹消委員は 4 名であった。

f) 様式改正について(様式 5-入会承諾書) ⇒資料:理⑥-8

資料 2023 理⑥-8 が提示され、鈴木業務執行理事より、新様式である様式-5 入会承諾書について説明があり、異議なく承認された。

(2) 審議及び報告事項

a) 第 21 回 学術総会報告について ⇒資料:理⑥-9~12

資料 2023 理⑥-9~12 が提示され、鈴木業務執行理事より、第 21 回学術総会について報告があった。参加者数は総計(講師等含む)93 名(現地 71 名、WEB 22 名)、その内有料参加者は 75 名であった。総収入額は 779,300 円、総支出額は 538,164 円であった。

アンケート結果を参考にし、利便性及び参加者からの感想も良かったので、来年度の開催場所についても、本年度と同じ、浅草橋ヒューリックカンファレンスで行うこととした。

b) 2024 年度研究会について ⇒資料:理⑥-2

資料 2023 理⑥-2 が提示され、鈴木業務執行理事より、来年度第 99 回研究会について説明があった。厚生労働省の平川氏へ「皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアルの活用」について、90 分講演にて講演依頼書を送付済である。講演時間には質疑応答時間も含めることとした。

c) 2024 年度研修会について

来年度の研修会実施案について審議を行った。

候補案: グンゼ博物苑、富岡製糸場、農業生物資源研究所、京都工芸繊維大学、日本大学生物資源科学部博物館 等

次回まで候補地について精査し、理事会にて再度審議を行う。

d) 2023 年度会計報告(案)について

資料 2023 理⑥-13 が提示され、鈴木業務執行理事より 2024 年 2 月末までの予算・実績対比表について報告があり、内容を確認した。2 月末時点の経常収益は 4,749,079 円、経常費用計は 4,031,660 円であった。

e) 2023 年度事業報告(案)について

資料 2023 理⑥-14 が提示され、鈴木業務執行理事より、前回理事会以降に修正した箇所に

について説明があり、内容を確認した。次回の理事会で最終版を確認し確定とする。

f) 2024 年度事業計画(案) について

資料 2023 理⑥-15 が提示され、鈴木業務執行理事より、前回理事会以降に修正した箇所について説明があり、内容を確認した。次回の理事会で最終版を確認し確定とする。

g) 2024 年度予算(案) について ⇒資料:理⑥-16

資料 2023 理⑥-16 が提示され、鈴木業務執行理事より、前回理事会以降に修正した箇所について説明があり、内容を確認した。昨今の状況を鑑み、海外派遣費及び通訳費について、再度精査し、次回の理事会で最終版を確認し確定とする。

h) 理事長(代表理事)、業務執行理事 職務執行報告

① 協議会 HP 会員専用ページのパスワード変更について

鈴木業務執行理事より、協議会 HP 会員専用ページのパスワード変更について、来年度も更新することの報告があった。

② 保護具着用管理者テキスト謝金(防護服)について

資料 2023 理⑥-15 が提示され、鈴木業務執行理事より、「保護具着用管理責任者教育テキスト」原稿作成に対する協力謝金として、1,318 千円が公益社団法人日本保安用品協会より入金予定であることの報告があった。

6. 配布資料 :

- 2023理⑤-1 2023 年度 第 4 回 理事会 議事録(案)
- 2023理⑤-2 2023 年度 入退会報告書(案)
- 2023理⑤-3 株式会社メディテックジャパン 入会申込書、登録申込書、HP 資料
- 2023理⑤-4 山田晃也 氏 退会届
- 2023理⑤-5 主査幹事ミーティング議事録
- 2023理⑤-6 主査幹事 立候補者一覧
- 2023理⑤-7 運用規程 改正案
- 2023理⑤-8 様式 1 入会申込書 改正案
- 2023理⑤-9 様式 3 退会届 改正案
- 2023理⑤-10 第 21 回学術総会 開催案内、プログラム
- 2023理⑤-11 第 21 回学術総会 参加者一覧
- 2023理⑤-12 第 21 回学術総会 収支予想
- 2023理⑤-13 第 21 回学術総会 役割分担
- 2023理⑤-14 第 21 回学術総会 シナリオ
- 2023理⑤-15 学術総会 内規(案)
- 2023理⑤-16 12/21 理事監事ミーティング議事録(案)
- 2023理⑤-17 1/15 理事監事ミーティング議事録(案)
- 2023理⑤-18 2023 年度 会計報告(案) 12 月末時点
- 2023理⑤-19 2023 年度事業報告案
- 2023理⑤-20 2024 年度事業計画案
- 2023理⑤-21 2024 年度予算案
- 2023理⑤-22 セイフティダイジェスト誌への原稿執筆(防護服 Q&A/2024 年 5 月号)
- 2023理⑤-23 Q&A 題材履歴
- 2023理⑤-24 防護服の ISO 国際会議への通訳サービスの依頼について

以上をもって議案のすべてが終了したので、議長は 17 時 00 分、閉会を宣した。

2024 年 4 月 3 日

一般社団法人日本防護服協議会